

2023（令和5）年度事業報告書

（事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類）

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

目次

1	事業業績の概要	p. 2
2	自己点検・評価結果	p. 4
	（1）公益目的事業の評価	p. 4
	（2）収益事業の評価	p. 7
	（3）法人の管理運営	p. 7
3	公益目的事業の業績	p. 8
	（1）教育学習事業：多彩な学びの場を市民に提供する事業	p. 8
	（2）人材育成事業：まちづくりの担い手を育成する事業	p. 16
	（3）地域発展事業：生活・文化・福祉・産業の発展に寄与する事業	p. 23
4	収益事業	p. 31
5	管理運営	p. 32

1 事業業績の概要

2022年から2024年までの3か年については、設立目的に立ち戻り、設立趣旨である「魅力あふれる地域社会の創造」を再認識するとともに「本法人の加盟機関が持つリソースを活用し地域課題の解決に繋げる」、これまで人材育成の重要なターゲットであった学生や青少年については現状を維持しつつ「人材育成の対象者の拡大を図る」、本法人が地域発展に寄与する団体としての地位を高めるために「情報収集力の強化と認知度の向上を図る」を目標として掲げた。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、各事業については、感染拡大の防止に注意を払いながら、できる限りコロナ禍以前の運営状態に戻して実施した。また、相模原市立市民・大学交流センター（以下センター）の指定管理業務については、感染拡大の防止に努めながら適切な施設運営に注力した。

教育学習事業では、「さがまちカレッジ」において、加盟機関の専門性を活かしながら、市民が快適で充実した生活を送るための講座49講座を実施した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、様々な生涯学習機会の創出に取り組み、対面講座の他、オンラインでの講座開講に取り組んだ。「相模原市・座間市 市民大学」においても対面とオンラインを併用して実施した。センターで開催した「オーサーズカフェ」は、24講座を実施し、平均38人、総数904人の市民がさまざまなジャンルのトピックを聴講した。教育学習系の事業については、根強い人気と安定的な満足度を収めることができた。

人材育成事業では、「さがまちインターンシップ」「さがまち学生 Club」「学生学習支援（まこちゃん教室・町田第一中学校学習支援）」においては、コロナ禍に対応したプログラムを再構築し事業を実施した。結果としてはいずれも参加学生数は前年度を上回り、参加学生及び協力団体から高い満足度・評価を得ることができた。

地域発展事業では、「学生映像制作」においては、6大学、17チームが番組制作に参加し、映像制作の技術の向上とともに、地域に対する理解を深めることができた。「地域情報誌制作」では、学生の視点で企画から取材、執筆を行う「情報誌さがまち」の紙面版を発刊し、地域の魅力を発信した。

会員については、正会員は36機関、賛助会員は1機関が退会し、計9機関となり、会員総数は45機関である。役員については、現員は理事8人、監事2人である。

管理運営については、国が進める働き方改革の観点からも、「長時間労働の是正」と「有給休暇取得の促進」を進めた。また、現在の事務所が所在する相模女子大学において、学内の施設整備が行われることから、年度内に事務所を移転し、次年度当初めから新たな事務所での業務開始に向けた準備作業を進めた。

相模原市から受託を受けている市民・大学交流センターの管理運営については、第4期（令和4年度～令和8年度）指定管理者として、センターの目的である市民と大学の橋渡しや、交流、研究、対話等の機会の提供に努めた。

また、さがみはら地域づくり大学の運営については、認知度が上がり、さらに広報活動を強化することで定員をほぼ満たすことができ、修了生の活動も活発化している。

収支予算については、収入 143,869 千円（前年度比 126.8%）、支出 143,736 千円（前年度比 126.9%）を計上し、収支差額は 133 千円とした。

財政構造については、収入の 38.8%を受託事業費が占めており、その割合は、昨年度に比べ8.0%であった。また、収入の 26.0%は指定管理料収入、27.1%は施設等利用料収入が占め、会費収入の割合は 4.0%（前年比 4.1%）であった。受託事業費収入、指定管理料収入、施設等利用料収入の占める割合は昨年度とほぼ変わらずであったが、引き続き会費収入増及び、受託事業の継続的な受任を目指し、収入の拡大を図ることで安定的な財源を確保し、健全な財政基盤の確立に努めていく必要がある。

2 自己点検・評価結果

公益目的事業について、事業計画において設定した目標値に対する達成状況や取組実績に対して自己点検と評価を行った。収益事業については、実績とその評価を付記し、法人の管理運営については、実績を付記した。

今回の評価結果は、2023（令和5）年度事業計画における目標値に対する評価である。

◇評価基準

- S：目標を超えて達成されている
- A：目標が達成されている
- B：目標がおおむね達成されている
- C：目標の達成が不十分である
- D：目標がほとんど達成されていない

(1) 公益目的事業の評価

ア 教育学習事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
さがまちカレッジ	講座数：45 講座 受講者数：1,200 人 理解度・満足度：80%	講座数：企画 49 講座、実施 48 講座 受講者数：1,046 人 理解度：91.9%、満足度：95.7%	A
相模原市・座間市 市民大学	円滑な運営 講座数：35 講座 受講者数：1,000～1,500 人 理解度・満足度：80%	講座数：32 講座 受講者数：770 人 理解度：85.5%、満足度：92.1%	A
センター・オーサ ーズカフェ	講座数：24 講座 参加者数：600 人 満足度：80%	講座数：24 講座 参加者数：904 人 満足度：96.5%	S
センター・ユニコ ムセミナー	講座数：2 講座 参加者数：50 人 満足度：80%	講座数：4 講座 参加者数：150 人	S

イ 人材育成事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
さがまちインタ ーンシップ	コロナ禍に対応したイン ターンプログラムの実施 参加学生満足度：80% アンケートの実施・分析	コロナ禍に対応したインターン プログラムを実施 受入先数：15 団体 参加学生：40 名 学生満足度：96.0%	A

さがまち学生 Club	コロナ禍に対応した学生活動プログラムの実施 参加学生数：30人 コラボレーション件数：10件 参加学生満足度：80% アンケートの実施・分析	参加学生数：8大学、25人（企画参加学生数延べ124人） 企画数：21企画 学生満足度：100%	A
学生による学習支援（町田市受託事業）	・まこちゃん教室 様々な事情をもつ家庭の子どもたちの生活・学習支援	教室開催数：32回 課外授業数：4回 受講生徒数：102人 受講生満足度：92.8% 学習支援員：10大学、50人 学習支援員満足度：95%	S
	・町一中図書室事業 公立中学校の図書室を活用した学習支援の場の提供	開館日数：74日 地域活性化イベント等：12回 利用者数：695名 学習支援員：4大学、10名	A
センター・さがみはら地域づくり大学	講座数：19講座 申込者数：40人 理解度：80%	講座数：19講座 申込者数：コース申込者21人 他の講座等含め合計94人 理解度：96.3%	B
チャレンジショップ	センターと大学の知名度向上、学生の社会経験の場の提供等を目的とする	実施回数：1回（学生による体験講座） 参加者：13名	A

ウ 地域発展事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
学生映像制作	地域のCMやPR、啓発活動などの映像制作を実施 ・さがまちバンバン 作品数：12本 ・CM・PR動画制作 作品数：3本 ・さがまちバンバンアワード開催	さがまちバンバン 参加チーム数：6大学、17チーム 作品数：17作品 さがまちバンバンアワード開催	B
地域情報誌制作	参加学生数：30人 年間発行回数：1回	参加学生数：8大学、19人 年間発行回数：年1回発行「さがまち vol. 28」	A
地域情報発信	・HP、SNS等の活用 ・地域情報の定期的な発信	HPアクセス数：68,336件/年 更新数：約50件/年 Facebook、instagram公式アカウントによる情報発信 更新数：約90件/年	A
センター・市民と大学との橋渡し	利用者交流会：12回 相談件数：100件 連携実績件数：27件 満足度：80% ニーズ・シーズ調査	利用者交流会：12回開催 相談件数：226件 連携実績件数：24件	B

センター・アートイベント	年間開催数：1回	開催数：1回	A
センター・地域連携の取組み等の情報発信	・情報誌発行 月1回発行(2,500部)	発行：6回/隔月 発行部数：1,200部 相模原市内の100か所に配布	B
	・ホームページ運営 HPアクセス数：200,000件以上	アクセス数：193,886件	C
センター・交流・研究・対話等の機会の提供	まちづくりモデル事業 参加団体数：10団体以上	参加団体数：13団体	A
	・学生インターンシップ 参加学生数：20名以上 ・学生地域活動スタートアップ事業 新規登録学生数：40名以上	学生インターンシップ参加学生数：17名 学生スタートアップ：新設団体1団体	B
	市民大学交流会：1回	開催回数：1回	A
	まちづくりフェスタ：1回 (ユニコムサミット同時開催) 参加者数：500人 参加団体数：50団体	まちづくりフェスタ：1回 イベント1日と1カ月間の展示会を開催 参加者数：425人(イベント) 参加団体数：29団体	B
センター・連携・交流機会の創出	協働委員会 開催回数：2回	検討のためのイベントを実施(1回)	C

(2) 収益事業の評価

取組み	事業の主な内容	実績	評価
センターの施設等の管理運営事業（収益事業）	<p>この事業は、一般市民などがセンターの施設等を利用するにあたり、相模原市条例に定める適正な料金のもとに次のサービスを提供し、利用者の便宜を図る。もって公益目的事業の推進への寄与を目指す。</p> <p>①シェアードオフィス運営支援（NPO 法人や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス（共用貸事務所）の利用者有料支援）</p> <p>②会議室等の貸し出し（セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し）</p> <p>③備品等の貸し出し（機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し）</p> <p>④利用者サービス（コピーサービス（有料）、無線 LAN（Wifi-Spot）（無料））</p>	<p>①シェアードオフィス利用者運営支援 利用者数：15 団体・個人（令和 6 年 3 月 31 日現在）</p> <p>②会議室等の貸し出し 一般利用者数：105,033 人 利用率：62.3%</p> <p>③備品等の貸し出し</p> <p>④利用者サービス コピー機：1 台設置（有料） 無線 LAN 設置（無料）</p>	B

(3) 法人の管理運営

内容	計画	実績
役員等の体制の整備	1. 役員体制の整備	1. 補充の監事 1 人の選任(6 月)
指定管理施設運営体制の整備	1. 円滑な施設管理運営 2. 管理事務室職員の採用	1. 相模原市への定例報告(毎月 1 回) 2. 嘱託職員 1 人、パートタイム職員 2 人を採用
事務局体制の整備	1. 職員の採用 2. 教育・研修の実施	1. パートタイム職員 1 人を採用 2. 全員に対する接遇研修及び防災訓練の実施(1 回)
情報公開の促進	1. 法令の遵守 2. 透明性の確保 3. 会員等の利便性の向上	1. 法定事項を公表 2. 議事抄録等を公開 3. 全規程を公開

3 公益目的事業の業績

魅力あふれる地域社会の創造への寄与を目的とする、教育学習事業、人材育成事業、地域発展事業

(1) 教育学習事業

ア さがまちカレッジ

加盟機関の専門性を活かしながら、暮らしに役立つ知識や社会的な課題の解決に向けた身近な話題をテーマに講座を開講した。

実 績	
期 間	2023年4月～2024年3月
講 座 数	45プログラム49講座 内、中止1プログラム1講座
定 員 数 等	定員数：1,134人 申込者数：2,036人 受講決定者：1,184人 受講者数：1,046人
内 容	「快適で充実した生活を送るための学び」をコンセプトに、暮らしに役立つ話題や生活を豊かにする情報、知的好奇心を満たす学術的知識、社会的な課題解決など様々な切り口で各大学等において講座を企画した。安全面に注意した講座運営を行い44プログラム48講座を開催した。開催数の内2講座はオンライン形式で開催した。内24講座は、町田市生涯学習センターとの協働の下、同センター及び市内公共施設を会場として開催した。
自 己 評 価	内容、開催方法ともに多様な講座の提供をすることができた。受講者の理解度、満足度はともに90%を大きく超え、様々な世代の市民が楽しめる講座を提供することができた。最少催行人数に達せず中止した講座が1講座あったが定員を超える受講者数となり、受講者の理解度、満足度も目標を大きく超えたため、「A」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生涯学習の場として、より多様な地域市民に関心を持たれるようにするため、受講者のアウトカム評価や関心を分析し、講座を拡充する。 ・小学生および中高生を対象とした体験講座の充実を図る。
会 議 等	さがまちカレッジプロジェクト会議 開催日：2023年4月19日、7月13日、10月19日、2024年2月14日
収 支	受講料収入に加え、会費収入の一部を充当
実施の様子	  

1) 開催講座実績

	講座名	開催日	提供団体	受講者数
1	歌って ハモって Smile! Smile! Smil ※	6月11・25日	玉川大学	83人
2	ハンドベル集中講座ー天使のハーモニーを楽しむー※	6月22・23日	玉川大学	12人
3	藍染生地の白抜きー抜染技法ーでバッグを作しましょう※	6月25日	女子美術大学	5人
4	カラーペンやシールでオリジナル着彩トートバックを作しましょう!※	7月23日	女子美術大学	12人
5	進化ってなんだ!?ー頭蓋骨ペーパークラフトを作ってたしかめようー	7月25日	麻布大学	44人
6	マークをデザインしよう!	7月28日	女子美術大学	10人
7	親子でくまのパペットを作ろう	7月29日	和泉短期大学	22人
8	牛乳パックで作ろう!LED で光るカラフルなミニチュアハウス※	7月29日	女子美術大学	20人
9	くすりの玉手箱ー漢方薬のひみつー(午前コース)	7月30日	北里大学	32人
10	くすりの玉手箱ー漢方薬のひみつー(午後コース)	7月30日	北里大学	23人
11	【さがまち web カレッジ】 自分の絵を動かしてみよう!ーキャラクターデザイン&GIFアニメーション教室ー	8月2・3・4日	女子美術大学	10人
12	エコアートに挑戦!ペットボトルキャップで万年カレンダー作ろう※	8月4日	女子美術大学	22人
13	自由に作ろう!ペットボトルキャップでカラフルエコアートに挑戦※	8月4日	女子美術大学	13人
14	【学生講師プログラム】 相模川の石を砕いて絵具を作ろう	8月5日	女子美術大学	24人
15	日本刺繍と金箔でつくる!キラキラポーチ	8月8日	女子美術大学	9人
16	【学生講師プログラム】 いきものかんさつ!たまごからウズラが生まれるまで	8月9日	麻布大学	18人
17	子ども探究チャレンジ連続講座ー天秤ばかりをつかって計算のしかたを探究しよう!!ー※	8月17日	ものづくり文化振興協会	13人
18	絵のなかのどうぶつたちが教えてくれる絵心ー色やかたちの自由さと“どうぶつらしさ”ー	8月18日	女子美術大学	28人
19	子ども探究チャレンジ連続講座ー地図・生き物・機械を探究しよう!!ー※	8月18日	ものづくり文化振興協会	12人

20	【学生講師プログラム】 楽しく環境を学ぼう in 鶴見川ー川で 学ぶ身近な自然ー	8月19日	和光大学	16人
21	Kids English in SALESIO	8月25・26・ 27日	サレジオ工業 高等専門学校	15人
22	古代ギリシアの神話と星座～ギリシア 時代から現代につながる神話の世界※	7月26日	和光大学	16人
23	ワークで学ぼう！～薬物乱用防止のた めにわたしたちができること～	8月1日	昭和薬科大学	
24	【さがまち web カレッジ】中学生のた めの初級薬学講座～薬の秘密を確かめ よう～	8月20日	相模原市薬剤 師会	13人
25	薬の効果を目で見てみようーいのちを 守る抗菌薬のはたらきー	8月21日	昭和薬科大学	8人
26	実験で体験しよう！～混ぜると光る化 学の不思議～	8月22日	昭和薬科大学	16人
27	新アーバンスポーツ「ベースボール5」 を体験しよう！	9月30日	桜美林大学	5人
28	世界に繋がる岩絵具<天然顔料>ー講 義と簡単な実習で素材から考える※ SDGs	7月1日	女子美術大学	20人
29	【学生講師プログラム】 相模川の石を砕いて絵具を作ろう	8月5日	女子美術大学	19人
30	横浜線と小田急線の敷設と沿線の変化 ※	9月2日	桜美林大学	28人
31	ソックスパペットを作ろう※	9月14日	和光大学	15人
32	北里柴三郎を育てた3大恩人ーマンズ フェルト・コッホ・福沢諭吉ー	9月24日	北里大学	15人
33	伝統的な金工技術を用いてオリジナル デザインのシルバーリング制作しよう ※	10月5・12・ 19日	女子美術大学	6人
34	歌って ハモって Smile! Smile! Smil ※	10月9・29・ 11月26日	玉川大学	65人
35	ハンドベル集中講座～天使のハーモニ ーを楽しむ～※	11月3・4日	玉川大学	15人
36	人生の転換期、どう対処する？コーチ ング心理学の活用※	11月4・11・ 25日	桜美林大学	30人
37	【特別講座】 『ストレスや不安をためないための子 育てミニ講座！』&オリジナル缶バッ ジづくり！	11月16日	和光大学	6人
38	金属は体にとって必要？～金属含有医 薬品を話～※	11月24日	昭和薬科大学	11人
39	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくり を目指しましょう！6 ～経絡を整え て免疫力を高めよう～	12月7日	相模女子大学	30人
40	走る・跳ぶ・投げる！「ドタバタ運動 教室」	10月7日	桜美林大学	23人

41	みんな一緒にエコ・プロちゃれんじ！ ～環境問題をプログラミングで表現してみよう！～	12月9日	青山学院大学	34人
42	日本画の古典技法を学ぶ～絹に描いてみましょう※	2月2・3日	女子美術大学	11人
43	歩き方教室～あなたの歩き方、正しいですか？～※	2月3・10日	ものづくり文化振興協会	33人
44	短編ドキュメンタリー映画制作ワークショップ～身近な“あの声”のなき声に、カメラで耳を澄ます～※	2月17日・ 3月2・10日	東京造形大学	11人
45	ニューロフィードバック入門～脳波からわかること、脳波でできること～※	2月25日・ 3月2・9日・ 16日	多摩大学	20人
46	【特別講座】 薬・健康市民講座 あたりまえの幸せ、それが健康です	3月3日	相模原市薬剤師会	80人
47	気を巡らせて春を快適に過ごしましょう！	3月11日	相模女子大学	32人
48	デッサンから学ぶ日本画※	3月16・17日	女子美術大学	12人
49	アートの心理学～アート作品を通して見るこころのメカニズム～※	3月23日	女子美術大学	29人

※町田市生涯学習センターとの連携講座

イ 市民大学（相模原市及び座間市教育委員会委託事業）

高等教育機関の機能を活用し、社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく入門的・継続的な学習機会を提供した。

実績	
期 間	2023年4月～2024年3月
講 座 数	14コース、32講座
定 員 数 等	定員数：1,231人 申込者数：916人 受講者数：770人
内 容	参加校の実施可能な状況を踏まえ、対面講座、オンライン講座、対面・オンライン併用講座、対面・オンライン・オンデマンド混合講座の4形態で実施した。
自 己 評 価	募集から受講まで細やかな受講者対応を行った。また、主催者が円滑に講座を実施できるよう事業運営に注力した。定員数には達していないが申し込み倍率がコロナ前の水準を上回り、受講者の市民大学に対する満足の評価は90%を超え、主催者の評価とともに高かったため「A」と評価する。
課題と改善策	・受講者ならびに主催者の満足度を維持するため、主催者、受講者双方の意見を参考にして、継続的に円滑な運営を行う。 ・各校の特色を生かした良質の講座をより多くの地域市民に知らしめるために、委託元の意向を汲みながら、引き続き受講者の拡大に努める。
会 議 等	連絡会議 開催日 2023年5月15日、2024年2月5日

収 支	市民大学委託事業費の全額を充当		
実施の様子			

企画講座実績

	講座名	主催校
1	近代日本のはやり歌を知るV～物語を聴く・語る楽しみ	相模女子大学
2	環境問題の過去、現在、未来	麻布大学
3	ヒトと動物の共生科学ー与えるもの、与えられるものー	麻布大学
4	障がい者の支援について	和泉短期大学
5	こころとからだのしくみを知り、「生活の質」を高める	和泉短期大学
6	初心者のためのモザイク実習	女子美術大学
7	裂の鑑賞方法ー日本の染織品とアンデスの染織品ー	女子美術大学
8	健康で豊かな人生のための基礎知識 ※1	北里大学
9	暮らしに役立つ医療の知識 ※1	北里大学
10	ホスピタリティについてーホテルの利用の仕方、アルコールの種類と注文の仕方ー	医療ビジネス観光福祉専門学校 コース
11	介護の知識を身につけようー介護保険制度と認知症の人への対応ー	医療ビジネス観光福祉専門学校 コース
12	現実社会の問題解決に向けてー現象へのデータ分析の目ー ※2	青山学院大学
13	ウクライナ侵攻後の地球規模課題 ※2	青山学院大学
14	アフターコロナの社会・経済活動の展望 ※2	青山学院大学
15	子どもを育む「コミュニティ」を考える ※2	青山学院大学
16	継承される物語ー日本の絵画と浮世絵に見る怪異譚 ※1	多摩美術大学
17	折り紙と歌で遊ぶ先端科学ーJAXA のロケット研究からコンピュータ・グラフィックスまで	東京家政学院大学
18	家計の格差を考えるー「子どもの貧困」「女性と貧困」の視点から	法政大学

19	Active English in the News (中級) -前期- ※1	サレジオ工業高等専門学校
20	Active English in the News (中級) -後期- ※1	サレジオ工業高等専門学校
21	今さら聞けない「LGBTQ+」ってナニ? -性の多様性とこころの支えを考える-	和光大学
22	あなたにもできるリスキニング-DX人材になるために- ※3	行政(相模原市)
23	なぜ人口減少するのか、少子化から考える現代社会について学ぶ	行政(座間市)
24	健康体操:体験・学ぶ-気軽に始められる心と体すっきり健康エクササイズ-	あじさい大学
25	健康スポーツ:バウンドテニス~いつでもどこでも誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツ~	あじさい大学
26	健康体操:太極拳~自己体力を超越した耐久力を養っていく健康法~	あじさい大学
27	健康体操:体験・学ぶ~自分の身体を整えるセルフコンディショニング~	あじさい大学
28	健康体操:体験・学ぶ-筋力アップトレーニング講座-	あじさい大学
29	健康体操:伝える-生きがいがづくり応援講座-	あじさい大学
30	健康音楽:コーラス-笑顔で歌って健康仲間作り!-	あじさい大学
31	健康スポーツ:ファミリーバドミントン-老若男女問わず楽しめるニュースポーツ-	あじさい大学
32	健康体操:太極拳-自己体力を超越した耐久力を養っていく健康法-	あじさい大学

※1 オンライン講座 ※2 対面・オンライン併用講座 ※3 対面・オンライン・オンデマンド混合講座

ウ オーサーズカフェ (指定管理事業)

様々なジャンルから話題性の高いトピックを取り上げてトーク形式で解説する参加自由なカフェ形式のセミナーを提供した。

実 績	
期 間	通年(隔週土曜日 14:00~15:00)
講 座 数	24 講座
定 員 数 等	定員数:定員数は特に設けていない 参加者数:904人、平均参加者数:38人
内 容	健康、歴史、文学、芸術、自然科学、環境など、多彩なテーマについて第一線で活躍している大学教授や各界の専門家による講座を開講した。
自 己 評 価	ユニコムプラザさがみはらの特徴的なにぎわいの空間として市民に認知されており、学びのきっかけづくり、市民と大学との接点の場となっている。参加者数は目標を上回ったので「S」と評価する。

課題と改善策	ロビーでの密集を避け、換気などの感染防止対策を行う。	
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当	
実施の様子		

	講座名	開催日	参加者数
1	健康寿命を延ばすための正しい姿勢とは～ 本当に使えるモノづくりを目指して ～	4月 8日	70人
2	障がいのある人もない人も、 みんなで楽しむ路上アート	4月 22日	46人
3	キャラクターとしてのシャーロック・ホームズ～探偵の視覚イメージ形成と展開～	5月 13日	30人
4	意外や意外！ 知っておどろく歌舞伎のひみつ	5月 27日	55人
5	スポーツビジネスのいまとこれから	6月 10日	28人
6	相模女子大学栄養科学部健康栄養学科が携わった宇宙日本食開発の取り組みについて	6月 24日	21人
7	「たかが凧、されど凧」の話～空でダンスする「キネティックカイト」を見たことがありますか～	7月 8日	21人
8	海の生き物に学ぶ 新しいCO2削減技術？	7月 22日	31人
9	ドイツ留学と国際平和村での体験から	8月 12日	35人
10	染織品から見る 古代アンデス文明	8月 26日	30人
11	産業能率大学における実践的なゼミ活動の事例紹介	9月 9日	14人
12	脳波で何が分かるか 何ができるか	9月 23日	27人
13	牧野富太郎博士と 植物学、植物図、植物図鑑	10月 14日	61人
14	古事記の読み方	10月 28日	48人
15	ボランティアから社長になって ～コミュニティFMの役割と現状～	11月 11日	25人
16	ヒトも動物も健”ロ”な社会へ ～”歯周病”からヒトと動物の共生を考える よい歯(418)プロジェクト～	11月 25日	31人
17	ピカソー自画像を通して見るその人生と芸術	12月 9日	53人
18	名曲探偵が明かす ベートーヴェン《第九》のヒミツ Season 9	12月 23日	45人

19	世界が変わる！ クルマの電動化と DX モノづくり	1月13日	43人
20	大学と地域はどうつながれるか？～教職員と学生の「今」	1月27日	21人
21	アートってあとから効いてくる？	2月10日	35人
22	「公民館」ってどんな場所？・くらしと地域をつくる学びの拠点として-	2月24日	41人
23	日本の桜、樹木のはなし	3月9日	53人
24	学生団体 YIPPEE ってなんだ！～学生時代に地域に関わるワケ～	3月23日	40人

エ ユニコムセミナー（指定管理事業）

大学の活動状況や研究成果を分かりやすく紹介し、市民と大学の連携のきっかけ作りを提供した。

実績	
開催期間	2023年5、8、9月
開催数	4講座
参加者数	150人
内容	日常の暮らしに役立つ実践的な研究や、地域課題解決の糸口につながる専門的な話題をテーマとし、セミナー形式で解説した。
自己評価	多くの参加者が見込まれるテーマと講師で実施した。 回数、参加者数が目標を上回ったので「S」と評価する。
課題と改善策	特になし。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

	開催日	講座名	参加者数
1	5月5日（金・祝）	ドクターアキヤマと不思議な科学実験を楽しもう！	30人
2	8月13日（日）	なつやすみ親子企画 科学実験	25人
3	8月20日（日）	形のふしぎを体験しよう！：黄金比をつかった紙工作	25人
4	9月10日（日）	虹色発見おもしろワークショップ	70人

(2) 人材育成事業

ア さがまちインターンシップ

学生のキャリア形成の支援として、地域産業への理解を深める、地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO法人等の活動を知る事などを目的としたインターンシッププログラムの取組み。

実績	
期間	2023年6月～2024年3月
受入先数	16団体(延べ数)
参加者数	40人(延べ数)
参加大学	青山学院大学、桜美林大学、相模女子大学、東京家政学院大学、法政大学、和光大学
内容	地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO法人等と大学を結ぶ「マッチングステージ」として各インターンシッププログラムを展開。コロナ禍に対応し、実習定員の削減やオンライン説明会の導入、実習時期を学校の長期休業期間に合わせて実施するなど工夫して事業を実施した。
自己評価	受入れ先である地域団体の協力を得ながらプログラムを実施し、結果として対象学部を限定した受け入れ先を除き、ほぼ全ての受け入れ先で実習を実施した。参加学生及び受入団体からの評価も高かったので「A」と評価する。
課題と改善策	学生・大学・地域団体のニーズに沿ったインターンシッププログラムを推進する。
収支	会費収入の一部を充当
実施の様子	

受入予定先別実施状況

	受入先	期間	内容
1	アイワ広告	8～9月	屋外広告事業や店舗運営及び、SDGs活動
2	エフエムさがみ	2～3月	番組制作、アナウンス研修、音声卓操作など放送局業務に関わる業務
3	相模大野図書館	9月	カウンター業務等の図書館司書業務の体験、及び図書館業務改善等をテーマにした職員へのプレゼンテーション
4	さがみはら産業創造センター	8月	さがみはら子どもアントレプレナーの後方支援業務

5	相模原市民文化財団	2～3月	施設での鑑賞公演及びワークショップの対応、及び相模原市内の中学校で実施するキャリア教育関連事業の対応等
6	フロムサーティドリーム薬局	2～3月	薬学部学生を対象とした調剤薬局業務
7	町田国際交流センター	2～3月	主催事業、講演会、イベントの運営補助業務
8	町田市生涯学習センター	8月	センター主催イベントの運営補助やその他広報業務の体験、及びセンターに対する企画プレゼンテーション
9	町田市地域活動サポートオフィス	8～9月	市民協働イベントでの若者向け企画の立案とプレゼンテーション、及びサポートオフィスHPやSNSを活用した広報業務等
10	町田市子ども創造キャンパス ひなた村	2月	施設運営業務、講座・イベントの補助業務、及び講座・イベント企画プレゼンテーション
11	町田市民ホール・和光大学ポプリホール鶴川	2～3月	ホールでの運営補助、その他、各事業における準備等補助業務
12	町田新産業創造センター	2～3月	主催セミナーの運営補助、及び来年度事業の企画検討等
13	まちモビコンソーシアム	8～9月 2～3月	情報まとめサイト「まちモビ」の運営、及びイベントの企画、運営等
14	ユニコムプラザさがみはら(相模原市立市民・大学交流センター)	8～9月 2～3月	市民団体と共に課題の解決検討、市民と大学等との連携による発展的な事業/サービスプランの検討と提案、及び挑戦課題の策定とアクションプランを提案

イ さがまち学生Club

相模原・町田地域の活性化を目的とした学生によるまちづくりの取組み。主な内容は、地域活性化をテーマとした学生企画の実施、まちおこしイベントへの参画、ボランティア活動、情報取材活動・情報発信活動など多岐にわたる。

実 績	
期 間	2023年6月～2024年3月
取組企画数	21件
参加者数	加盟大学の学生及び相模原・町田市在住の学生 25人（企画参加学生数延べ169人）
参加大学	青山学院大学、桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、多摩大学、法政大学、和光大学、相模原・町田地域在住大学生
内 容	まちづくりへの関わりを通じて青年の社会適応力の育成を目的とする。クラブに所属する学生の自主性のもと、2023年度は対面にて活動を行い、様々な相模原市、町田市の地域団体と連携し、21件のまちづくり企画を実施した。
自己評価	今年度は全会議を対面で実施し、活気あふれる学生会議を推進すること

	<p>ができた。昨年度に続き自主イベントを実施するなど、新聞社やメディアからの注目度は年々高まり、協働のオファーが多数届いた。参加学生数は目標に達しなかったが、企画数は大きく目標を上まわり、参加学生及び協働団体から高い評価を得たため「A」と評価する。</p>
課題と改善策	<p>ディレクション業務の効率化を図るとともに、新規学生参加者の増加を目指す。</p>
収 支	<p>委託事業費及び会費収入の一部を充当</p>
実施の様子	

活動の実績

	内容	実施月	参加者	依頼元
1	イベント「つながりマルシェ」	5月 ～10月	20人	自主プログラム
2	さがまち学生Club ホームページリニューアル	6月 ～10月	20人	自主プログラム
3	イベント「学生天国」への参画	5月	5人	大学コンソーシアム八王子
4	イベント「橋本七夕まつり」への参画	7月 ～8月	8人	相模原市緑区役所地域振興課
5	イベント「Machida Weekend STRET」への参画	8月 ～9月	6人	町田市都市街づくり課
6	紙面版「情報誌さがまち」の制作	11月 ～3月	19人	自主プログラム
7	町田駅周辺整備計画学生プレゼンプロジェクト	11月 ～3月	5人	町田市都市街づくり課 中心市街地開発推進室
8	町田市市民協働フェスティバル まちカフェへの参画	5月 ～12月	8人	町田市市民協働推進課 町田市地域活動サポート オフィス
9	町田市「ガクマチ EXPO」への参画	11月 ～3月	4人	町田市生涯学習センター
10	学生記者プロジェクト	11月	2人	東京新聞
11	いわて若者カフェ主催イベント への登壇	12月	3人	いわて連携復興センター
12	「東京町田合同企業説明会」ヒアリング会	12月	5人	町田商工会議所
13	エフエムさがみ「一緒に考えよう！相模原の未来 日本の未来」出演	12月	2人	相模原商工会議所都市産業研究会
14	和光大学フードバンクサークル「はらぺこあおむし」主催イベントへの出展	3月	5人	和光大学フードバンクサークルはらぺこあおむし

15	活動報告会	3月	25人	自主プログラム
16	相模原お店大賞実行委員会の委員メンバーとして参画	通年	3人	相模原商工会議所
17	町田市生涯学習センター運営協議会委員として参画	通年	1人	町田市生涯学習センター
18	町田市こども会議委員として参画	通年	1人	町田市子ども総務課
19	相模原市淵野辺駅周辺検討委員会委員として参画	通年	1人	相模原市観光・シティプロモーション課
20	相模原市南区区民会議委員として参画	通年	1人	相模原市南区役所区政策課
21	公式WEBサイト・フェイスブック・ツイッター・YouTube・noteの制作、公開	通年	25人	自主プログラム

ウ 学生による学習支援

① まこちゃん教室(町田市ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業)(町田市委託事業)

町田市内のひとり親家庭等の子どもとその保護者を対象とし、日々の学習支援や課外活動・ワークショップを通し、子どもの基礎学力の定着や社会性を伸ばす無料学習塾を運営。地域の大学生が学習支援員を担う。

実績	
期 間	2023年4月～2024年3月
教室回数	(集合型) 2023年7月～翌3月まで毎週火、木曜日実施 各32回 (派遣型) 生徒・学習支援員の都合により毎週実施 各32回
実施場所	町田市健康福祉会館、生徒自宅、オンライン など
参加者数	受講生徒：小学4年～中学3年生102人(集合型：81人 派遣型：21人) 学習支援員：50人(青山学院大学、桜美林大学、玉川大学、相模女子大学、女子美術大学、多摩美術大学、法政大学、和光大学、東海大学、明治学院大学)
内 容	町田市内のひとり親家庭及び生活保護受給世帯等の子どもとその保護者を対象とし、日々の学習支援や課外活動・ワークショップを通し、子どもの基礎学力の定着や社会性を伸ばすことを目的とする。2023年度は原則対面授業を行い、7月から毎週火曜日と木曜日に学習・生活支援教室を展開した。引き続き中学3年生に対して、高校入試対策のプログラムを展開した。
自己評価	年間を通して大きなトラブルもなく、生徒・保護者・学習支援員から高い運営評価を得ることができた。今年度で2年目となった中学3年生の受け入れに関しても、昨年度以上に生徒ごとの支援を行い、結果全生徒が高等学校への入学を決めた。最終アンケート結果項目の満足度も高かったため、「S」と評価する。
課題と改善策	教室運営の課題を洗い出し、アンケート結果等と合わせて考察し、今後

	の運営に活かす。
課外プログラム	年に4回の課外プログラムを企画・実施 10月：職業体験、試合観戦イベント（協力：FC町田ゼルビア） 11月：境川清掃ボランティアチャレンジ（協力：アイワ広告株式会社） 12月：大学見学ツアー（協力：玉川大学） 1月：ものづくり体験講座 （協力：一般財団法人ものづくり文化振興協会）
収 支	まこちゃん教室委託事業費の全額を充当
実施の様子	

② 町田市立町田第一中学校における学習支援事業（町田市委託事業）

町田市立町田第一中学校の図書室にて、世代を限定しない市民の自主的な学びの支援を行う。子どもをはじめとした市民の知の居場所づくりや、学習支援に関わる学生の成長促進を目的として図書室を運営。

実績	
期 間	2023年4月～2024年3月
実 施 日 数	74日
実 施 場 所	町田市立町田第一中学校図書室
参 加 者 数	利用者数:695人 学習支援員:10人（桜美林大学、相模女子大学、玉川大学、和光大学）
内 容	仕様にある多世代交流や地域活性化につながるプロジェクトの他、マンスリーイベントを企画、開催し集客に努めた。
自 己 評 価	年間を通して大きなトラブルがなく、利用者から高い評価を得ることができた。地域活性化イベントやマンスリーイベントを計画的に実施することができた上に、参加学生からも好評を得ることができたため、「A」評価とする。
課題と改善策	認知度とリピートの利用者数の向上を目指し、小学校、中学校へのチラシの配布や、公的な情報誌への掲載を行う。
プロジェクト	年に4回の多世代交流や地域活性化につながるプロジェクトを実施 7月：浴衣の着付け講座 8月：昔ばなしの世界を楽しもう！！ 12月：図書室でクイズの答えを探し出せ！・芹ヶ谷公園でクイズの答えを探し出せ！ 1月：絶対あがる！？おりがみで凧づくり
収 支	学習支援事業委託費の全額を充当



エ さがみはら地域づくり大学（指定管理事業）

協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために必要な知識や技術を体系的に学習する講座を開講した。

実 績	
期 間	通年
講 座 数	地域活動コース 7 講座、スキル習得講座 4 講座、テーマ実践講座 4 講座、公開講座 2 講座、市民企画講座 2 講座
定 員 数 等	申込数：地域活動コース 21 人、スキル習得・テーマ実践講座 73 人、この他、公開講座 95 人、市民企画講座 多数
内 容	5月募集開始、7月開講、12月にかけて実施した。 コーディネーターズサークル交流会を4回開催した。
自 己 評 価	申込者数が目標値を下回ったが、理解度については高く、参加者同士のつながりが促進されたため「B」と評価する。
課題と改善策	効果的な広報に取り組む。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

1) 内容及び受講者数

コース	講座名	開催月	参加者数
地域活動コース	キックオフミーティング	7月	18人
	さがみはらを知る	7月	36人
	地域活動をはじめ	7月	37人
	仲間とともに、やってみる	8月	36人
	市内施設の見学	8月	15人
	市内施設・団体の見学	9月	14人
	地域活動に関する発表	12月	12人
専門講座／テーマ実践編	さがみはら地域活動入門	9月	24人
	さがみはら社会起業入門	9～10月	35人
	地域を学ぼう、守ろう～防災講座～	11月	14人

	さがみはら魅力づくり・発信入門	12月	18人
専門講座／スキル習得編	はじめてのマーケティング	10月	27人
	動画作成広報戦略	11月	42人
	インスタ集客講座	11月	40人
	効果的コミュニケーションスキル講座	11月	中止
市民企画講座	動物の命を感謝を持っていただく	10月	多数
	世界の課題を地域課題につなげて解決する	3月	36人

コース	講座名	開催日	参加者数
公開講座	次世代を担う人材を育てる！宇宙教育の地域連携	5月21日	26人
	SDGsのまちづくり～誰一人取り残されない、これからの地域づくり	6月10日	32人

2) コーディネーターズサークル交流会

	内容	開催日	参加者数
第1回	近況報告と意見交換	6月10日	10人
第2回	近況報告と意見交換	10月15日	6人
第3回	近況報告と意見交換	1月27日	15人
第4回	近況報告と意見交換	3月30日	17人

オ チャレンジショップ（指定管理事業）

センターと大学の知名度向上を狙い、また、学生の社会経験などを目的に実施した。

実績	
期 間	3月3日
講 座 数	1回
参 加 者	13名
内 容	相模女子大学学生プロジェクトによる「電子回路ペン体験講座」。 電子回路ペンは、線を引くだけでLEDを光らせる回路を描くことのできる特殊なペンで、理科の楽しさや魅力を楽しく学ぶもの。
自 己 評 価	学生が一般の方を対象にイベント運営を担うなど、コミュニケーション形成の訓練や社会経験の場となり、当所の目的を達成したので「A」とする。
課題と改善策	大学、学生の自主的な企画のため、事業実施を促進していく。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

(3) 地域発展事業

ア 学生映像制作

映像制作を通して地域への理解を深め、また、取材、企画提案、番組構成案作成、撮影等の一連の作業を通じて、協調性や他者との関係作りに必要な能力と態度を育成する。

実績	1) 番組制作	2) CM・PR 動画制作
期間	2023年4月～2024年3月	
作品数	1) 17作品、特別編2作品	2) 実績なし
参加団体	1) 加盟大学の17学生団体	
内容	1) 地域の学生が番組制作を通して地域への理解を深めること、そして学生目線の地域映像情報に接した市民が地域の魅力を再認識することを目的とするプログラム。6大学17チームがエントリーし、17作品を制作。制作された作品は、学生情報局「さがまちバンバン」として、さがまちHP及びYouTube等で配信した。3月に予定されていた優秀作品の選考、表彰を行う「さがまちバンバンアワード2023」はHP上での審査結果発表のみとしたが、各チームの監修教員が作品ごとに講評し、学生にフィードバックした。	
自己評価	さがまちバンバンについては、目標以上の作品数を制作、公開し、参加した学生、監修した教員、地元地域ともに好評であった。また、別団体と連携した作品を特別編として公開するという新しい試みもあった。しかしCM・PR動画制作については実施に至らなかったため「B」と評価する。	
課題と改善策	幅広い学生参画を目指すため、広報・プロモーション方法などを再検討し、参加者の拡大に努める。 CM・PR動画制作の連携先の開拓に努める。	
収支	委託事業費及び会費収入の一部を充当	
実施の様子		

1) -①学生情報局「さがまちバンバン」作品一覧

	作品タイトル	配信開始月	制作校
1	サイコロまかせの旅/餃子裁判	8月	女子美術大学
2	青学生が徒歩50Km 参勤交代してみた！	8月	青山学院大学

3	相模大野で女子大生が café 巡り	1 月	相模女子大学
4	ななふしぎ	1 月	東京造形大学
5	時計仕掛けの鯨	1 月	東京造形大学
6	不幸すぎるワイが神社巡りに行った結果 wwwwwwww	1 月	東京造形大学
7	相模原町田ガチンコ 8 番バトル in 青学	2 月	青山学院大学
8	さらば、インターネット	2 月	東京造形大学
9	Dummies	2 月	東京造形大学
10	恋人探し (令和 ver.)	2 月	相模女子大学
11	「戦慄」玉川大学のペッパー君がヤバイ件	2 月	玉川大学
12	食べ残し許しまへんで	3 月	和光大学
13	そばにいる	3 月	和光大学
14	Hang out	3 月	東京造形大学
15	ぶらりさがまちの旅	3 月	和光大学
16	ラーメン漫遊記	3 月	玉川大学
17	おしえてハイジちゃん	3 月	相模女子大学

1) -②さがまちバンバンアワード 2023 受賞作品

賞タイトル	作品タイトル	制作校
グランプリ	おしえてハイジちゃん	相模女子大学
準グランプリ	ラーメン漫遊記	玉川大学
準グランプリ	Dummies	東京造形大学
準グランプリ	そばにいる	和光大学

イ 地域情報誌制作

学生による地域情報誌制作を通して地域への理解を深め、また情報誌を手にした市民が地域のイベントや活動を知り、地域の魅力を再認識することを目的して実施した。

実績	
期間	2023年11月～2024年3月
参加者数	加盟大学の学生及び相模原・町田市在住の学生19人
参加大学	青山学院大学、桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、多摩大学、法政大学、和光大学、その他相模原・町田地域在住大学生
内容	地域の学生が地域情報誌「さがまち」28号を約半年をかけて制作。企画会議、取材、記事制作などすべての活動を学生主体で行い、加盟機関や公共施設等に配架を行った。
自己評価	情報誌制作を通して学生の社会適応能力の向上と情報発信による地域活性に寄与した。参画した学生数は少なかったが、質の高い情報誌を完成させ、掲載内容も内外から好評であったため、「A」と評価する。
課題と改善策	新たな配架場所や地域の協力者を獲得し、更なる地域活性を目指す。また、参加する学生数を増やす。
収支	会費収入の一部を充当
実施の様子	

地域情報誌「さがまち」28号の概要

発行数	3,000部
配架場所	相模原市・町田市内のまちづくりセンターや図書館などの公共施設、取材先など約150箇所
概要	B5版サイズ・16ページ・両面カラー
記事タイトル	<ul style="list-style-type: none"> ・祝20周年！相模原お店大賞を知る ・あなたにとってランチとは？地域で働くリアルな大人のランチ！ ・美術館とカフェ ・地域活動をしている学生に話をちゃんと聞いておきたい！ ・大学ルート攻略法 ・さがまち学生Clubとは？

ウ 地域情報発信

ポータルサイト「さがまち」による情報発信事業。

実績	
期間	2023年4月～2024年3月
HPアクセス数	68,336件
更新数	約140件

内 容	ポータルサイト「さがまちHP」、「公式フェイスブック」及び「公式インスタグラム」の運営を通して地域情報の発信。 また加盟機関が実施する生涯学習講座やイベントなどの情報発信をはじめ、加盟機関が実施する「オープンキャンパス情報」及び「オンライン学習情報」特設サイトを開設するなど情報発信に努めた。
自 己 評 価	公益目的事業に関わる情報発信に注力し、市民の生活に密着した情報を発信した。更新数は HP とフェイスブック等を合わせた更新数が目標を上回ったので「A」と評価する。
課題と改善策	SNS の連動など時代のニーズ、シーズに沿った情報発信を心掛ける。
収 支	会費収入の一部を充当
	

エ 市民と大学との橋渡し（指定管理事業）

施設の入居者や来場者の質問や相談に対して専門職員が相談・助言を行い、社会参加活動のきっかけ作りや大学との橋渡しを目的とする。

実 績	
期 間	通年
内 容	相談受付件数 32 件（前年度からの継続 1 件） 橋渡し実績 28 件 橋渡し未実施（翌年度へ継続） 2 件 橋渡し不成立 2 件
自 己 評 価	橋渡し件数について、やや目標に達しなかったため「B」とする。
課題と改善策	橋渡しの件数はプラットフォームの活動の結果であることから、プラットフォーム充実に努める。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	大学との連携 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>団体のロゴ作成（横浜美術大学）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>団体のロゴ作成（女子美術大学）</p>  </div> </div>

オ アートイベント（指定管理事業）

実 績	
期 間	8月10日から8月26日
内 容	高校、大学の写真部と個人による合同写真展 最終日にアーティストトークを実施
自 己 評 価	学生が企画に参加し、実施した写真展で、4団体と10名から41作品が集まるなど、充実した写真展となったため「A」とする。
課題と改善策	学生が企画に参加するなど、センターらしいイベントとなったが、センターの設置目的を踏まえ、より学生主体の企画運営に発展させていく。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

カ 地域連携の取組等の情報発信（指定管理事業）

① 情報誌発行

センター事業やセンターに係わる様々な団体の取り組みや連携に関する情報を紹介する情報誌を定期的に発行。

実 績	
期 間	通年
発 行 回 数	6回
発 行 部 数	各回1,200部
内 容	A4版2ページ、6回発行、各回1,200に見直し、相模原市内の約100か所に配布した。 センター事業の紹介、大学の活動紹介、シェアードオフィス利用者の活動紹介など、様々な取り組みや市民と大学との連携に関する有効な情報を紹介した。
自 己 評 価	発行回数を目標よりも減らしたが、「市民と大学との連携」「施設でのイベント」について、タイムリーに情報発信できたので「B」と評価する。
課題と改善策	情報誌だけでなく全体的に、より効果的な情報発信について検討する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

② ホームページ運営

市民や大学、企業・団体が行う多彩な活動を紹介する。センター事業をはじめ、センターと団体との共同事業、利用団体（利用者）が行う事業、その他の地域情報を幅広く紹介する。

実 績	
期 間	通年
HPアクセス数	193,886件
更 新	毎日
内 容	例年通り活発に掲載・更新を行ったが、コロナ禍の影響が残り、利用率同様にアクセス数は戻っていない。
自 己 評 価	年間を通してアクセス数が戻っていないので「C」と評価する。

課題と改善策	より効果的な発信ができるよう、ホームページの見直しを行う。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

キ 交流・研究・対話等の機会の提供（指定管理事業）

① まちづくりモデル事業

実 績	
期 間	通年
内 容	地域課題の解決及び地域の活性化を図る目的で活動する 13 団体の事業をモデル事業として、センターで実施した。
自 己 評 価	13 団体が参加するなど、活発な活動を支援できたため「A」とする。
課題と改善策	センターの目的である大学との連携について、内容的な充実を図る。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

②-1 学生インターンシップ

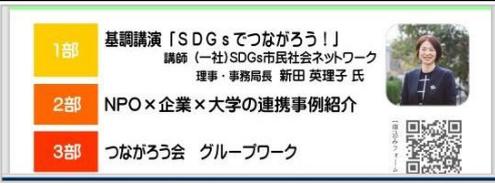
実 績	
期 間	8～9月、2～3月
内 容	9大学から、17名の学生を受け入れ。 イベント参加型実習などの経験的学習を通して習得したことから、個々の学生が主体的に学生スタートアッププランを企画・発表する場等を提供した。 この他、施設窓口を体験するプログラムも提供した。
自 己 評 価	学生数が目標を下回ったが、一部のインターンシップ生は、期間終了後もセンターで活動を継続するなど、学生の地域活動の発展的なつながりも見えたことから「B」とする。
課題と改善策	受入れ大学からの評価も高く、引き続き積極的な受け入れ、サポートを実施する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

②-2 学生地域活動スタートアップ事業

実 績	
期 間	通年
内 容	センターで活動を希望する学生への助言により、学生団体1団体（4名）が組織され、活動を開始した。
自 己 評 価	参加学生数が目標を下回ったが、センターのサポートを踏まえ、組織化した団体は活発な活動をしているため「B」とする。
課題と改善策	スタートアップのスキームについて整理していく。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

③ 市民・大学交流会

市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供。

実 績	
開催期間	2024年1月
開催数	1回
参加者数	77人
内 容	「SDGsでつながろう」をテーマにNPO、企業、大学が交流する場としてイベントを実施した。した。
自己評価	イベントに参加した団体等の活発な意見交換がなされ、一部では具体的なつながりが生まれるなどしたため「A」と評価する。
課題と改善策	センターのプラットフォームの機能の充実を検討する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	 

④ まちづくりフェスタ

地域・市民団体と大学が協働したまちづくりイベントを開催。

実 績		1) 市民・大学協働まちづくりフェスタ	2) ユニコムサミット
開催日		1) 2023年10月1日～10月30日（展示形式） 2) 2023年10月15日（イベントデー兼サミット）	
参加者数		参加団体数：29団体 参加者425人（イベントデーのみ）	
内 容		1) 市民団体、NPO法人、大学の研究成果、学生の地域活動について展示するとともに、イベントデーにおいてはそれぞれがブース出展し、PRや交流を行った。	
自己評価		参加者数は目標を下回ったが、「大学市場、工作・体験、まなぶ」をキーワードに様々な団体がワークショップを行うとともに、学生が運営に参加するなど目的を達成できたので「B」と評価する。	
課題と改善策		センターの設置目的を踏まえたイベントの在り方について検討する。	
収 支		指定管理者事業収益の一部を充当	
実施の様子		フェスタ チラシは学生が制作  	

ク 連携・交流機会の創出（協働委員会）（指定管理事業）

団体間の交流の場を設け、相互の活動紹介や情報交換等が行える機会を創出することにより、協働による取組を促進する。

実 績	
開 催 期 間	—
開 催 数	—
参 加 者 数	—
内 容	テーマに沿って多様な主体が連携しネットワークを形成するための組織として「協働委員会」を構想し、その検討の意味合いも含め、イベントを開催（再掲③市民・大学交流会に記載）したが、協働委員会の設立は行わなかった。
自 己 評 価	センターのプラットフォームの機能充実を検討するなかで、協働委員会としての組織化は見送ったため、「C」と評価する。
課題と改善策	このイベントの結果を踏まえつつ、市内の協働推進拠点と連携、協力をしながら、大学と地域の多様な主体の協働を促進する仕組みを引き続き検討する。
収 支	—

4 収益事業

センターの施設等の管理運営事業（公益目的事業の推進に寄与する事業）

一般市民などがセンターの施設等を利用するに当たり、相模原市条例に定める適正な料金のもとにサービスを提供し、利用者の便宜を図ることに努めた。

- （１）シェアードオフィス運営支援（NPO 法人や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス（共用貸事務所）の利用者有料支援）
- （２）会議室等の貸し出し（セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し）
- （３）備品等の貸し出し（機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し）
- （４）利用者サービス（コピーサービス（有料）、無線 LAN（Wifi-Spot）（無料））

5 管理運営

(1) 総会・理事会

ア 社員総会

	開催日	開催場所	内容
定時 社員総 会	2023（令和 5）年 6月27日	ユニコムプラザ さがみはら セミナールーム 2	<p><審議事項></p> <p>(1)監事の選任について</p> <p>(2)2022（令和4）年度収支決算(案)につ いて</p> <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の入会について ・2022（令和4）年度事業報告について ・2023（令和5）年度事業計画について ・2023（令和5）年度収支予算について ・諸規程の制定・改正について ・2023（令和5）年度事業・組織体系につ いて ・さがまち本店の公益目的事業の実施状況につ いて ・ユニコムプラザさがみはらの運営状況につ いて

イ 理事会

	開催日	開催場所	内容
第84回 理事会 (定例)	2023（令和 5）年 6月5日	相模女子大学 会議室2	<p><審議事項></p> <p>(1)補充の監事候補者について</p> <p>(2)人事について</p> <p>(3)諸規定の制定について</p> <p>(4)2022（令和4）年度事業報告（案）につ いて</p> <p>(5)2022（令和4）年度収支決算（案）につ いて</p> <p>(6)社員総会の議案について</p> <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について
第85回 理事会 (臨時)	2023（令和 5）年 6月27日	ユニコムプラ ザさがみはら ミーティング ルーム4	<p><審議事項></p> <p>(1)定時社員総会の議案及び議事進行につい て</p>
第86回 理事会 (臨時)	2023（令和 5）年 9月12日	相模女子大学 茜館 催事場	<p><審議事項></p> <p>(1)人事について</p> <p>(2)賞与について</p> <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について

			<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行状況について ・職員の表彰について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に関するモニタリングについて
第 87 回 理事会 (臨時)	2023 (令和 4) 年 12 月 12 日	相模女子大学 会議室 2	<p>< 審議事項 ></p> <p>(1) 正会員について</p> <p>(2) 主たる事務所の移転について</p> <p>< 報告事項 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の退会について ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・相模原市立市民・大学交流センターモニタリング結果について
第 88 回 理事会 (定例)	2024 (令和 6) 年 3 月 12 日	相模女子大学 会議室 2	<p>< 審議事項 ></p> <p>(1) 役員の選任に関わる推薦手続きについて</p> <p>(2) 諸規定の改定について</p> <p>(3) 人事について</p> <p>(4) 職員の給与適用について</p> <p>(5) 2024 年度事業・組織体系 (案) について</p> <p>(6) 2024 年度事業計画 (案) について</p> <p>(7) 2024 年度収支予算 (案) について</p> <p>(8) 役員賠償責任保険への加入について</p> <p>< 報告事項 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・職員の表彰について ・運営委員会・プロジェクト事業委員会委員の任期満了に伴う推薦手続きについて ・2024 年度社員総会・理事会・運営委員会の開催日程について

(2) 委員会

ア 運営委員会

	開催日	開催場所	内容
第1回	2023(令和5)年 5月16日	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<報告事項> ・正会員の入会について ・人事について ・2023年度事業計画について ・2023年度収支予算について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について ・私立大学等改革総合支援事業について <報告事項> ・2023年度 さがまち本店の事業について ・2023年度 ユニコムプラザさがみはらの事業について ・2023年度 社員総会・運営委員会の開催日程について ・アントレチャレンジプロジェクト学生スタッフ募集について
第2回	2023(令和5)年 10月10日	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<報告事項> ・人事について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について <報告事項> ・2023年度 さがまち本店事業について ・2023年度 ユニコムプラザさがみはらの事業について

イ プロジェクト事業委員会

①さがまちカレッジプロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回 (第7期 第4回)	2023年4月 17日	相模女子大学 茜館 催事場	・2023(令和5)年度さがまちカレッジⅡ期講座について ・さがまちカレッジの実施における新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のためのガイドラインについて
第2回 (第7期 第5回)	2023年7月 13日	相模女子大学 茜館 催事場	・2023(令和5)年度さがまちカレッジⅢ期講座について ・2024(令和6)年度さがまちカレッジ開催スケジュールについて
第3回 (第7期 第6回)	2023年10月 19日	Zoom ミーティングによる	・2024(令和6)年度さがまちカレッジⅣ期講座について ・2024(令和6)年度さがまちカレッジについて

第4回 (第7期 第7回)	2024年2月 14日	Zoom ミーティ ングによる	・2024(令和6)都市度さがまちカレッジ 企画提案について ・2024(令和6)年度さがまちカレッジI 期講座について
---------------------	----------------	--------------------	---

②キャリア支援プロジェクト

開催実績なし

附属明細書

事業における重要な事項は2023(令和5)年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。